

## IV.競技本部報告

### 1. 競技団体としての組織運営の充実・強化

- 1) 国体選考で、国体委員会において明確な選考基準を提示しました。
- 2) 行事によって総務本部と連携して事業運営ができました。
- 3) 新たに専門的な分野での専門員を増やして充実を図りました。
- 4) 大会運営の改善を図るために所属加盟団体との意見交換を行いました。
- 5) ポール等の備品の充実を図りました。

### 2. 事業運営の改革

- 1) 大会運営の安全に実施することができました。
- 2) 役員配置を工夫してスムーズに大会運営ができました。
- 3) 大会運営において、必要に応じて業務委託ができました。
- 4) 総務本部と連携して大会運営をしました。
- 5) SAJ ジュニア公認大会を盛況のもと行えました。
- 6) マスターズ第2戦をチャレンジCUPと合わせて実施しました。
- 7) 県選手権を会場変更して実施しました。

### 3. 他団体との連携強化

- 1) ジュニア育成・選手強化を県体協と連携して実施しました。
- 2) 高体連と協力して、大会運営・選手強化に取り組みました。
- 3) 南関東ブロック、関東ブロックとの連携して行事運営・選手強化を実施しました。

### 4. 人材育成への取組

- 1) 各分野のスペシャリストの育成ができてきました。
- 2) 外部との連携を図りながら、選手の育成プログラムを実施しました。
- 3) 国体の監督資格の受験者を設けることができました。